



百分の一秒に 込める思い

Profile もみのき・ゆたか

平成12年11月1日生まれ。「かるたの甲子園」と呼ばれる全国高校かるた選手権に、鹿本高校の一員として出場。都道府県別で争う全国高校総合文化祭では、熊本代表8人のメンバーとして8年ぶりのベスト4に輝いた。趣味はチーズケーキ作りと、おいしいメロンパン探し。竹の下区在住。17歳。

静寂に包まれた空間。読み手が声をはり上げた瞬間、横なぎに払われた札が宙を舞った。畳の上の格闘技とも称される競技かるた。「勝負は一瞬。戦いは100分の1秒差で決まる世界です」と難しさを説明する。

「小学3年生のとき、近所のお兄ちゃんに誘われて」洒水かるた会に入会。保育園で百人一首を体験し、古典文学が好きだったこともあり、夢中になった。「他の習い事は続かなくても、かるたは本当に楽しくて。練習が待ち遠しかった」と熱心に通った。高校は競技かるた強豪校の鹿本高校に進学。会と部活を並行して腕を磨いた。

「かるたは男女や年齢を問わず戦えるのが魅力。鹿本高チームで東大チームに勝ったときは本当にうれしかった」と目を輝かせる。競技者としての持ち味は、読み出す際の発声音で言葉の判別し、相手より早く動き出せること。「試合中は無心。脳に指令が行く前に、耳から音が入ると同時に手が動く感じ。札を取った後、頭で理解するんです」

部活を引退し、現在は受験生。大学進学を目指しており、卒業後もあるたを続ける。一緒に腕を磨いた高校の部員たちとは「定期的にかかるたの大会に出場して、同窓会みたいに集まろうって話しています」と大学生活に思いを馳せる。県外で視野を広げ、いずれは地元に戻って指導者を夢見る。「かるたの楽しさをもっと伝えたい。菊池で競技者が増えたらうれしいです」

「菊池人」 希望者を募集します

新しいことに挑戦している人、伝統を受け継いでいる人など、菊池で頑張っている人を募集します。本市在住であれば自薦・他薦は問いません。詳しくは市長公室までお問い合わせください。

問い合わせ先

市長公室広報交流係

☎ 0968 (25) 7252



鹿本高校3年

榎木 優多佳さん



1_ 洒水かるた会で後輩を指導。岩崎美保代表(竹の下)のもと竹の下公民館で約20人が活動している 2_ 小学生の頃から練習で使い続ける思い出が詰まった札 3_ 同じ部活の富田大登さん(荒牧)と。一緒に全国高校かるた選手権、全国高校総合文化祭に出場